

第2回核兵器の人的影響に関する会議(概要と我が国の対応)

1. 背景

- 核兵器の使用がもたらす様々な影響について、科学的見地から議論を行う会議(専門家レベル)。
- 2013年3月のノルウェー政府主催会議のフォローアップ会合として、メキシコ主催により開催。
- 核兵器が公衆衛生、環境、気候変動、食料安全保障、開発、交通、情報通信等に及ぼす長期的かつ地球規模の影響に関する議論を想定。

2. 会議概要

日時/場所 2014年2月13日(木)～14日(金) / メキシコ・ナジャリット

参加国 (確認中)

スケジュール 2月13日 9:00～ 9:45 開会
9:45～11:00 被爆者等による被爆証言
11:30～12:30 セッション1「オスロからナジャリットへ」
12:30～15:00 セッション2「核兵器爆発が国家、地域及び地球規模の経済成長及び持続的な発展にもたらす課題」
16:45～18:30 セッション3「核兵器爆発が地球規模の公衆衛生にもたらす影響」
2月14日 9:00～ 11:00 セッション4「核爆発の危険及びその他の影響」
11:45～14:00 意見交換
16:30～18:30 閉会及び議長総括(※会議終了時に発出予定)

3. 我が方の対応

- 唯一の戦争被爆国であり、従来から核兵器使用による被害の実相を世界に知らせる取組を積極的に進めてきている我が国としては、被爆者を含む関係者に委嘱しつつ、我が国代表団6名を派遣し、自らの知見と経験に基づき議論に貢献する。

※我が国代表団:〔外務省職員2名(野口泰軍備管理軍縮課長他)、朝長万左男日本赤十字社長崎原爆病院長、藤森俊希日本原水爆被害者団体協議会事務局次長、小柳雅樹さん(長崎・活水高校1年生)及び土田弥生日本原水爆禁止日本協議会事務局次長(通訳者)〕

- 朝長院長が、医学分野の専門的見地から、放射能の影響について発言予定(セッション3)。藤森被団協事務局次長は自らの被爆体験を、小柳さんは被爆三世として「核兵器のない世界」への思いを発言する予定(開会式後)。